

オンラインセミナー

『留学生のための 考えを伝え合うプレゼンテーション』

—留学生にとって難しいこと&その指導—

2021年3月20日(土) 14:00 – 15:30

仁科 浩美

(山形大学学術研究院
工学部国際交流センター・
准教授)

本日の内容

1. アカデミック・プレゼンテーションにおける留学生の問題
皆さんから事前にいただいたコメントを共有しながら
2. 学習者目線で実際に教材をやってみよう
3. 質疑応答・意見交換とまとめ



1. アカデミック・プレゼンテーション における 留学生の問題

教材開発にいたるきっかけ

日本語授業で扱うプレゼンテーションの教材はあるが、まだ不足している面がある。

- ・専門の研究に近づけたプレゼンの教材
- ・学生が本当に困っているのは質疑応答、特に対人関係が関与する場合
- ・メンタル面にもアドバイス
- ・聞き手にはいろいろな人がいる。その対応は？
- ・実際に使用されている日本語表現が知りたい
- ・どのように発表するのか 動画がほしい。

日本語教師が
学生の専門分野の
発表を見る機会は
少ない。

しかし、
私はそこに
いる。

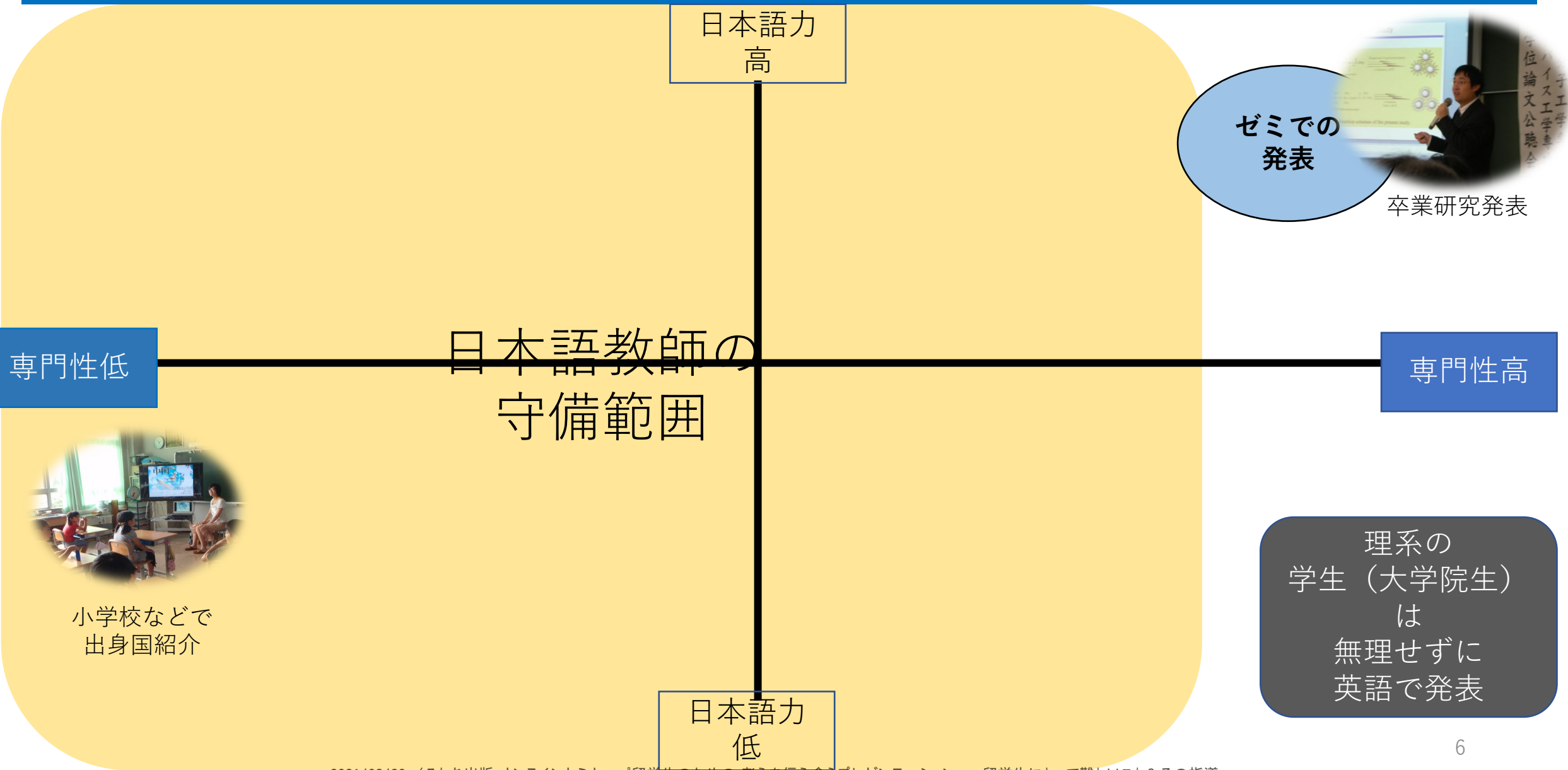
(仁科浩美 (2016) 「口頭発表に関する教材分析―質疑応答の対話に目を向けた教材開発を見据えて―」

専門日本語教育学会研究討論会誌、pp.36-37)

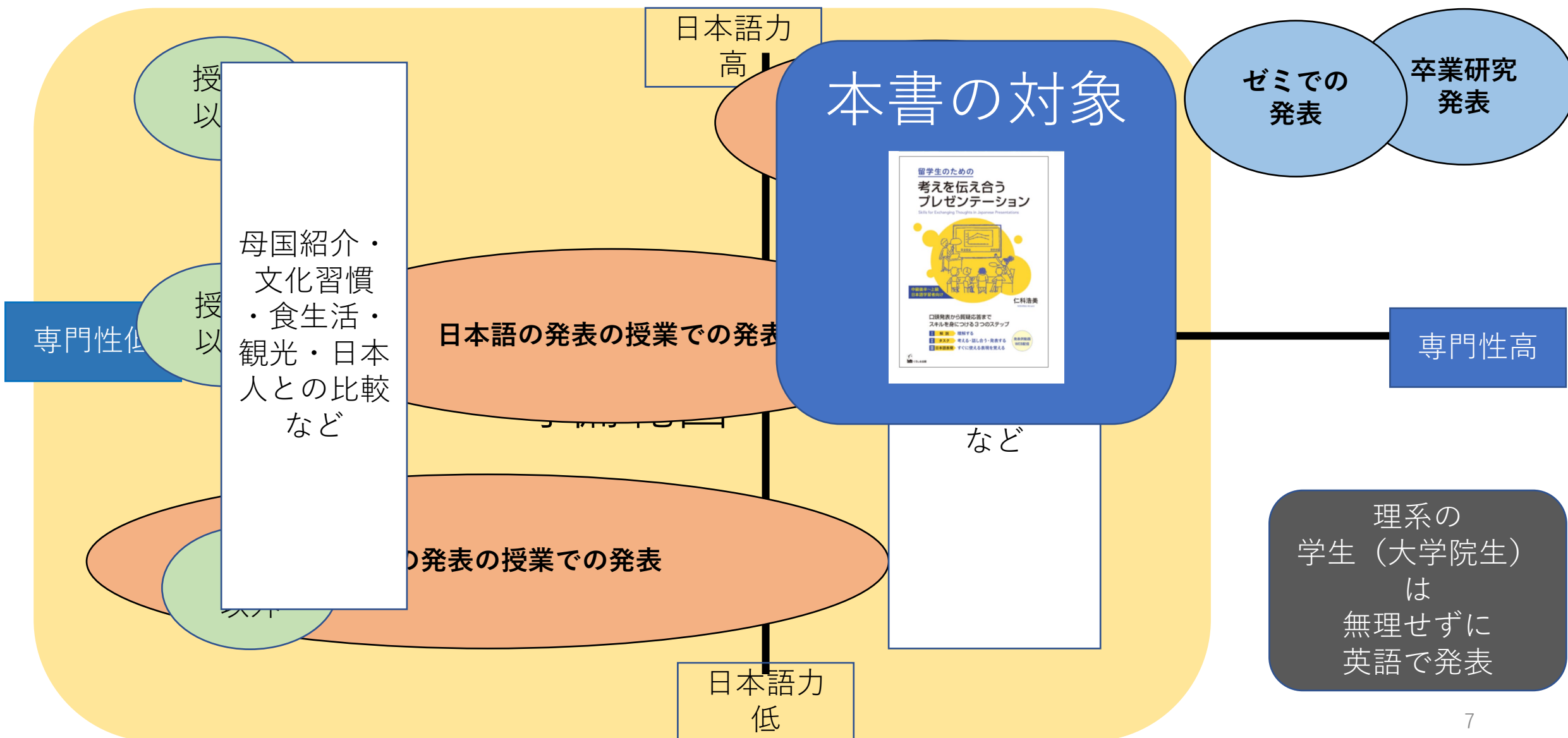
皆様から寄せられた困っていること・コメント

	人数	例
スキル	14	・プレゼンの内容、スクリプトの作り方、文章の構成 ・スライドの作り方、一文が長すぎる、文字が多い、漢語の多用、情報盛り込みすぎ ・聞き手を意識したプレゼン ・話し方、声の出し方
意欲と経験	6	・「やったことがないので、やりたくない」 ・シャイ ・学生がプレゼンを見聞きした経験もない。
思考力	4	・考える力が低い。 ・ピアで内容を深めていくことが難しい。
(日本語授業の中での発表時) 発表者が目指す日本語	4	・オーディエンスを誰にするか。日本語らしい日本語にすると(練習すればするほど)、同じクラスの学生がわからない。 ・伝えたいことと日本語力とのギャップ
今後の参考に	4	・まだ授業でプレゼンを扱ったことはないが、今後の参考に
教師の評価	3	・どのように評価すれば効果的な発表につながるのか。 ・評価が難しい。
その他	5	・教師自身がプレゼンに自信がない。 ・オンラインでのプレゼンの授業・指導のしかた

留学生が行うプレゼンのいろいろ



留学生が行うプレゼンのいろいろ



発表するために必要な知識とスキル

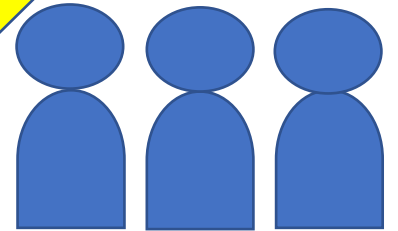
発表内容そのもの
についての
知識と理解

発表における言語（日本語）表現
発表の構成
発表に関するルール・マナー

伝える力
【説明する】
【見せる】

質疑応答

伝え合う
【質問する】 【回答する】



聞き手

研究発表するために必要な知識とスキル

発表内容そのもの
についての
知識と理解

発表における言語（日本語）表現

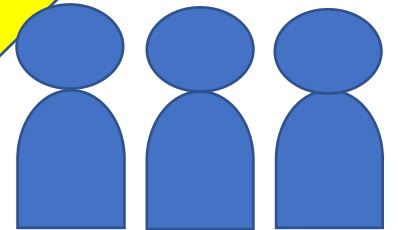
発表の構成

発表に関するルール・マナー

研究の進め方・取り組み方
についての理解【思考力・考察力】

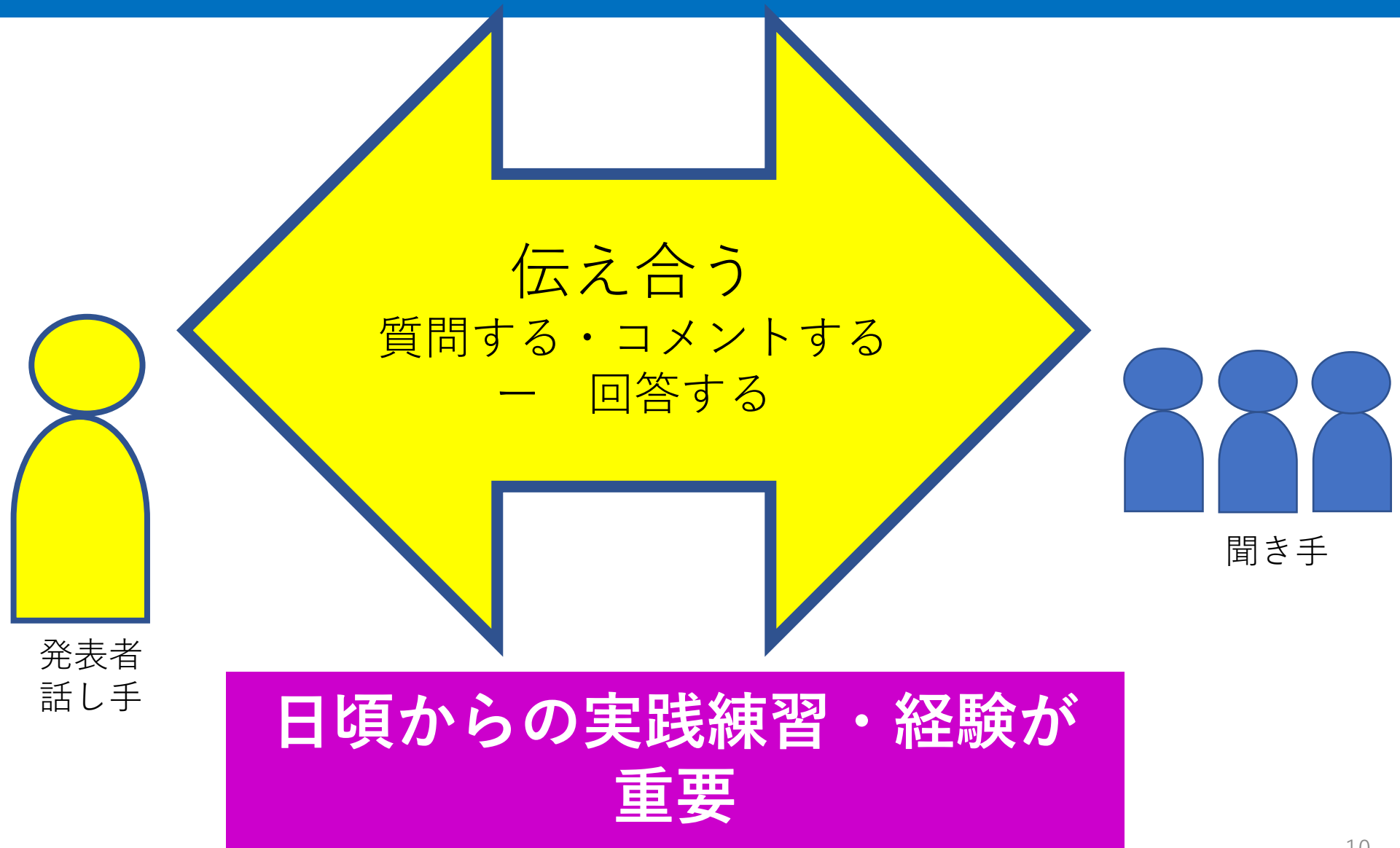
伝える力
【説明する】
【見せる】

質疑応答
伝え合う
【質問する】【回答する】



聞き手

研究発表するために必要な知識とスキル



『留学生のための考えを伝え合うプレゼンテーション』 学習の対象者と扱ったこと

対象者：

- ・いずれは研究発表の必要あり。しかし、具体的にはまだ行っていない。
- ・発表するときどんな日本語を使うのか知らない。
- ・何を話せばいいのかわからない。
- ・質問されたとき、どう答えればいいかわからない。
- ・発表のスライドはどんなスライド？ …

発表における言語（日本語）表現

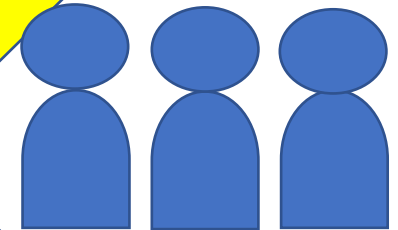
発表の構成

発表に関するルール・マナー

研究の進め方・取り組み方
についての理解【思考力・考察力】

伝える力
【説明する】
【見せる】

伝え合う
【質問/コメントする】
【回答する】



聞き手

『留学生のための 考えを伝え合うプレゼンテーション』

目次

はじめに 1 この本をお使いになる方へ 4

第①課 プレゼンテーションとは 6

1. 「発表」と「プレゼンテーション」
2. 大学で行う発表の種類
3. 発表の3つのポイント

第②課 学科紹介・研究紹介 (1) 6

1. 発表を行うまでのプロセス

第③課 学科紹介・研究紹介 (2) 6

1. 発表者として、発表を行い、コメントを受ける
2. 聞き手として、コメントをする

Note 1 緊張とどう向き合う？……

第④課 研究発表 (1) 序論 6

1. 発表の導入で話すこと
2. 研究の目的と意義

Note 2 発表で話す文の種類：3つ

第⑤課 研究発表 (2) 本論—研究方法— 6

1. 研究の方法を説明する

Note 3 調査や実験項目を述べる

第⑥課 研究発表 (3) 本論—データ— 6

1. 得られた結果の提示
2. 考察

Note 4 図表を説明するときによく使う表現

第⑦課 研究発表 (4) 本論—データ— 6

1. 複数の調査や実験から構成される研究について説明する
2. 複数の結果から結論を導き出す意味

第⑧課 研究発表 (5) 結論—全体のまとめ— 64

1. 発表のまとめ
2. 反省点と今後の課題
3. 聞き手への感謝

Note 5 時間の調整……71

第⑨課 発表スライド (1) 簡潔に示すための日本語の工夫 72

1. スライド資料
2. 文体
3. 箇条書きで見やすく
4. スライドでよく使われる表現

第⑩課 発表スライド (2) 情報の示し方 78

1. スライドのデザイン
2. 項目の関係
3. 項目の関係
4. 文字の大きさとフォント
5. 絵や写真の使用と出典の表示
6. スライド番号

第⑪課 質疑応答 86

1. 質問を受ける心構えと準備
2. 質問を受ける心構えと準備
3. 質問とコメント
4. 独特な前置き表現

時間……92

第⑫課 質疑応答 93

1. 質問を受けた際の状況
2. 状況に応じた対応
3. 状況に応じた対応

いいこと……100

第⑬課 質疑応答 102

1. 理解や解釈のずれがあると感じるとき
2. 理解や解釈のずれがあると感じるとき

(など)への配慮で考慮すべきこと

第⑭課 質疑応答 109

1. ポスター作成の際に気をつけること
2. ポスター作成の際に気をつけること

第⑮課 発表の実践と振り返り 113

1. 発表前の練習
2. 話し方
3. 非言語コミュニケーション

付録 研究発表例 118

主な参考文献 128

各課のタスクで
考える、話し合う、発表する



ウォーミングアップ

研究発表
(口頭発表)

スライド

質疑
応答

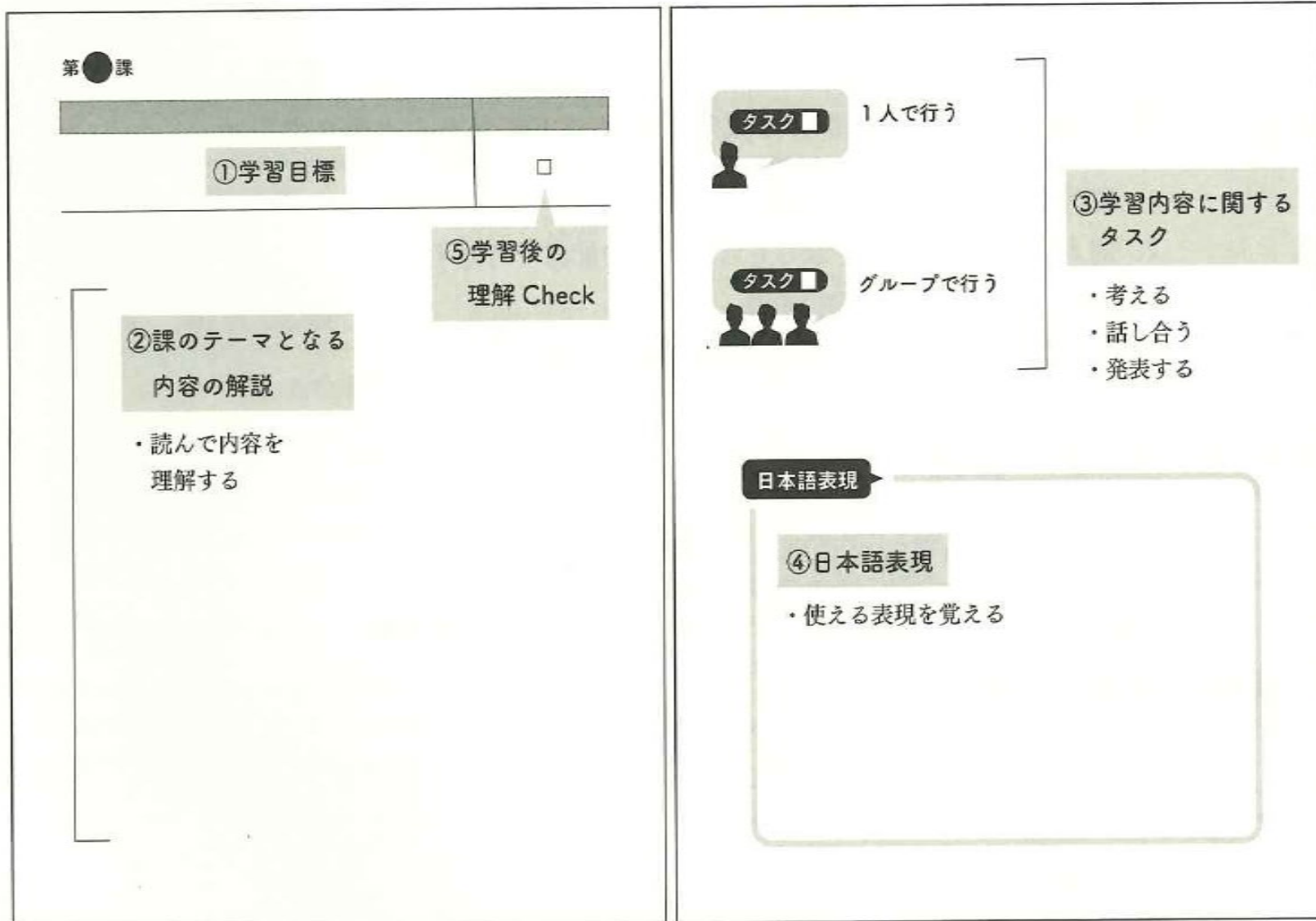
研究
発表
(ポスター
発表)

発表の実践
と振り返り

付録 発表例

『留学生のための 考えを伝え合うプレゼンテーション』

課の構成



留学生の問題 1 アカデミック・プレゼンとは？

留学生に言いたくなること
あるある(?)

例 1) 大学でどんなプレゼンがあるか、知っている？

例 2) あなたのこの研究で、何を知りたかった？何がわかった？

例 3) 聞き手は誰？

例 4) もう誰か同じようなこと、していない？

例 5) その方法で本当に調べられるの？それ、信用できるサイト？

例 6) 自分で考えたところはどこ？

例 7) なぜそのスライド？

かわいさ
必要？

日本の教育に
ついて

〇〇学科〇年
X XX



留学生の問題 1 アカデミック・プレゼンとは？

解決案

1. 目標となるプレゼンを見る。
2. アカデミック・プレゼンのイメージを持つ。
3. 「作法」があることを理解する。

作成した動画

movie no. 1

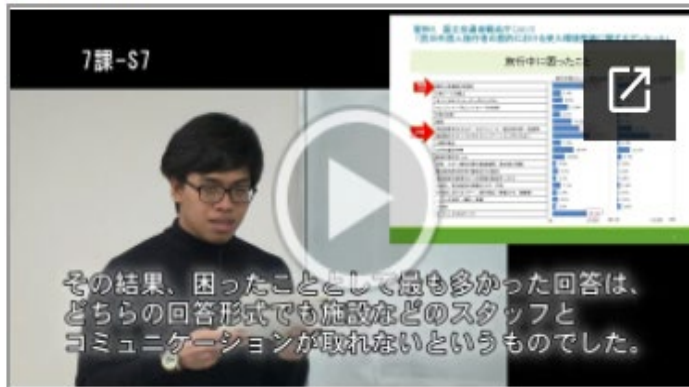


movie no. 2



第3課 研究紹介
文系 研究紹介・
理系 学科紹介

スライド7



Q&A 1



第4課－第8課
ゼミでの発表
テーマ：外国人観光客

スライド5



Q&A4



付録
卒業研究発表 工学系

留学生の問題 1 アカデミック・プレゼンとは？

過去の経験を振り返る

タスク 2 次の (1) (2) について、話し合しましょう。

(1) これまで自分が行った発表で成功したもの、他の人が行った発表で上手だと思ったものについて、話し合しましょう。

自分の発表で成功したもの	他の人の発表で上手だと思ったもの
①いつ	①いつ
②どこで	②どこで
③誰に	③誰が 誰に
④何について	④何について
⑤発表時間 (質疑応答も含む)	⑤発表時間 (質疑応答も含む)
⑥うまくいったと思う点	⑥良いと思った点

(2) 自分たちがどのような発表を「上手だ」と評価しているかを考え、話し合しましょう。

上手な発表とは、

タスク 3

次の A~D の発表について、その目的、聞き手、気をつけるべきポイントなどを話し合い、表に書き入れましょう。

- A. いろいろな学科の人が集まった大学の最初の授業で、初めて会ったクラスメートに自分の専門について紹介する。
- B. 小学校の国際理解教育の授業に招かれ、小学生の前で自分の国について紹介する。
- C. 自分が考えた新しい商品を、会社の企画会議で上司や同僚の前で説明する。
- D. 卒業発表会で研究について、学科の先生や他の学生の前で説明する。

	A	B	C	D
目的	例) 自分のことを覚えてもらい、クラスメートと良い関係が作れるようにする。			
聞き手	大学生のクラスメート			
気をつけるべきポイント	違う専門分野の人にもわかりやすいように、専門的な用語は使わないようにする。			

第1課

プレゼンテーションとは

様々な発表の比較

アカデミックな発表の特徴を知る

例 1) 発表 = スライド作ること ?

例 2) 発表に行き着くまでには、まず内容を固めないと。

例 3) アカデミックな発表の構成は決まってるよ。

例 4) この発表にずっと関わってきたあなたと、発表を初めて見る聞き手には情報差があると思う。もっと親切に説明してください。

例 5) 本番と同じように誰かの前でやってみた ?

- ・ 一度やってみる。
- ・ （恥ずかしくても）ビデオに撮って見る。
- ・ 見た人からフィードバックをもらう。
受け止める。



第3課 研究紹介

例 1) 急に何の話が始まったの？心の準備ができてません。

例 2) 序論、本論、結論 え？今、どこ？
話の展開を示す日本語表現、知ってる？

例 3) どうしてこの研究するの？目標・目的は何？

例 4) これまでに他の人の研究で分かっていることは何？

例 5) 研究の方法は？

タスク 2

タスク 1 (1) ~ (3) から 1 つ選び、発表しましょう。的確にわかりやすく説明できたか、聞き手にコメントをもらいましょう。

話した番号
()

もらったコメント

日本語表現 7 図表の見方や結果について述べる

▶ 図表の見方を説明する

① {図 1 / 表 1 / こちら} は A を {表した / 示した} ものです。

例 ・ 図 1 は大学生の 1 週間の読書量を表したものです。
・ こちらは 1 日の平均睡眠時間を示したものです。

② A について表したものが {図 1 / 表 1 / こちら} です。

例 ・ 大学生の 1 週間の読書量について表したものが図 1 です。

③ 縦軸は A を表しています。横軸は B を表しています。

例 ・ 縦軸は温度を表しています。横軸は時間を表しています。

④ 縦軸は A、横軸は B です。

例 ・ 縦軸は温度、横軸は時間です。

▶ 結果を説明する

① {全体的に / (特定の部分) については}、(特徴の説明) という結果が得られました。

例 ・ 全体的に、アニメが海外輸出に占める割合は高いという結果が得られました。
・ 20 代女性については、価格を最も重視して選んでいるという結果が得られました。

② (種別) では、(結果の説明) という結果になりました。

例 ・ 地域別では、A が 60.5 %、B が 23.8 %、C が 14.5 % という結果になりました。

③ (項目) については、(結果の説明) という {傾向 / 特徴} が見られました。

例 ・ 旅行時の不満については、言語の面での不満が多いという傾向が見られました。
・ 40 代については、睡眠時間が短い人が多いという特徴が見られました。

日本語表現 8 考察したことについて述べる

① {この / A という} 結果から、(判明内容) が

わかりました。
推測されます。
うかがえます。

例 ・ この結果から、20 代女性向けの商品開発には、低価格での商品提供が重要であることがわかりました。
・ 価格を最も重視しているという結果から、この年代の収入が大きく関係していることが推測されます。
・ 価格を最も重視しているという結果から、コストパフォーマンスを考え選んでいる様子がうかがえます。

② A の結果、(結果説明) しており、(判明内容) がわかります。

例 ・ 調査の結果、留学生が知っている企業名は非常に限られており、持っている情報が十分でないことがわかります。
・ 実験の結果、金属の断面には多数の穴が開いており、この方法により、空洞を持つ金属ができたことがわかります。

③ このような結果となった原因としては、A が考えられます。

例 ・ このような結果となった原因としては、20 代の給与はまだあまり高くないことが考えられます。

④ 原因の 1 つとしては、A という可能性が考えられます。

例 ・ 原因の 1 つとしては、留学生はテレビやインターネットからしか企業の情報を得ていないという可能性が考えられます。

例 6) 図表を説明して、終わり？
この図表から言えることは何？
こういう結果になったのは、どうしてだと思う？
知りたいことの答えは見つかった？

例 7) それ、あなたの考え？誰かが言っていたこと？

例 8) 話をまとめると、どうなるの？

考えを述べる際、それは全て客観的なデータに基づいたものでなければなりません。テレビやインターネットで見たり聞いたりしただけの根拠のない情報を加えてはいけません。最後に考察部分をまとめ、「序論・本論・結論」の結論部分へとつなげます。

タスク 1 次の例を参考に、(1)～(3)の結果および考察部分の説明を考えましょう。

例) 日本人男性の睡眠時間の特徴を知りたい。

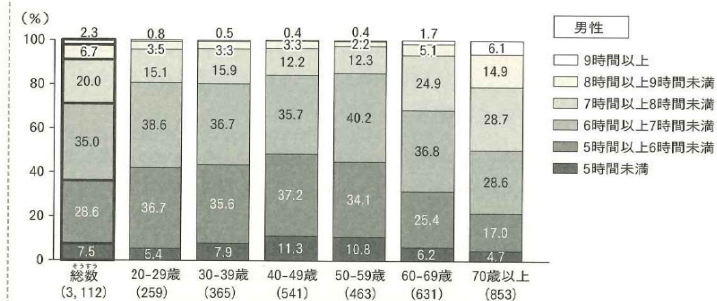


図 6-2 1日の平均睡眠時間（男性、年代別）

厚生労働省「平成 29 年国民健康・栄養調査結果の概要」p. 25 <https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000351576.pdf> (2020 年 3 月 12 日閲覧)

結果

・全体的な傾向

最も割合が多いのは、6 時間以上 7 時間未満の睡眠を取る人で 35 % を占めています。次に多いのは、5 時間以上 6 時間未満であり、この 2 つで 6 割を超えています。

・注目すべき点

40 代と 50 代では、睡眠時間が 5 時間未満と回答した人がそれぞれ 11.3 %、10.8 % と、他の年代より多い結果になっています。一方で、60 代では 6 時間以上の睡眠を取る人が 68.5 %、70 代では 78.3 % と、長めの睡眠時間を取る人が多い傾向が見られます。

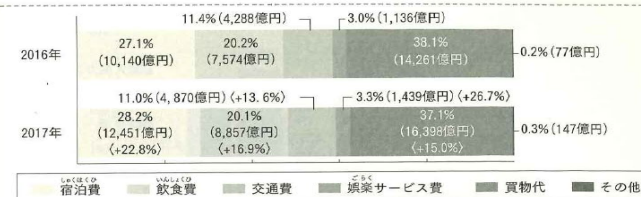
考察

この結果から、職場で課長や部長に就く年代の 40 代、50 代は仕事が忙しいため、睡眠時間が短いのではないかとことがうかがえます。そして、定年を迎える 60 代以降は、仕事から解放され、十分な睡眠時間が確保できるため、睡眠時間も他の年代より長くなるのではないかと考えられます。

・まとめ

日本人男性全体では、6 時間以上 7 時間未満の睡眠を取る人が多いものの、役職に就く 40 代、50 代では睡眠時間を削って仕事を行っている可能性が考えられます。そして、定年を迎えた後は、睡眠時間を十分に取った生活を送っていると思われる。

(1) 外国人旅行者の日本でのお金の使い方を知りたい。



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

注 1：() 内は費目別旅行消費額。注 2：() 内は前年比の伸び率。

図 6-3 費目別にみる訪日外国人旅行消費額

国土交通省観光庁「平成 30 年版 観光白書」p. 14 <http://www.mlit.go.jp/common/001260951.pdf> (2020 年 3 月 12 日閲覧)

結果

・全体的な傾向

・注目すべき点

考察

・まとめ

留学生の問題 4

質疑応答での対応

例 1) 質疑応答って何するか、知ってる？

例 2) 「よかったと思います」ってどこが？ 良くないことについてはどう言う？

例 3) 質問はわかったけど、うまく説明できないとき、どうする？

例 4) 日本語、聞き取れなかった？ どうする？

例 5) 何を聞きたいのか、よくわからないとき、どうする？

例 6) 質問した人が勘違いしているんじゃないかと思うとき、どうする？

例 7) 質問のとき、先生も学生に敬語を使うことがあるって、知ってた？

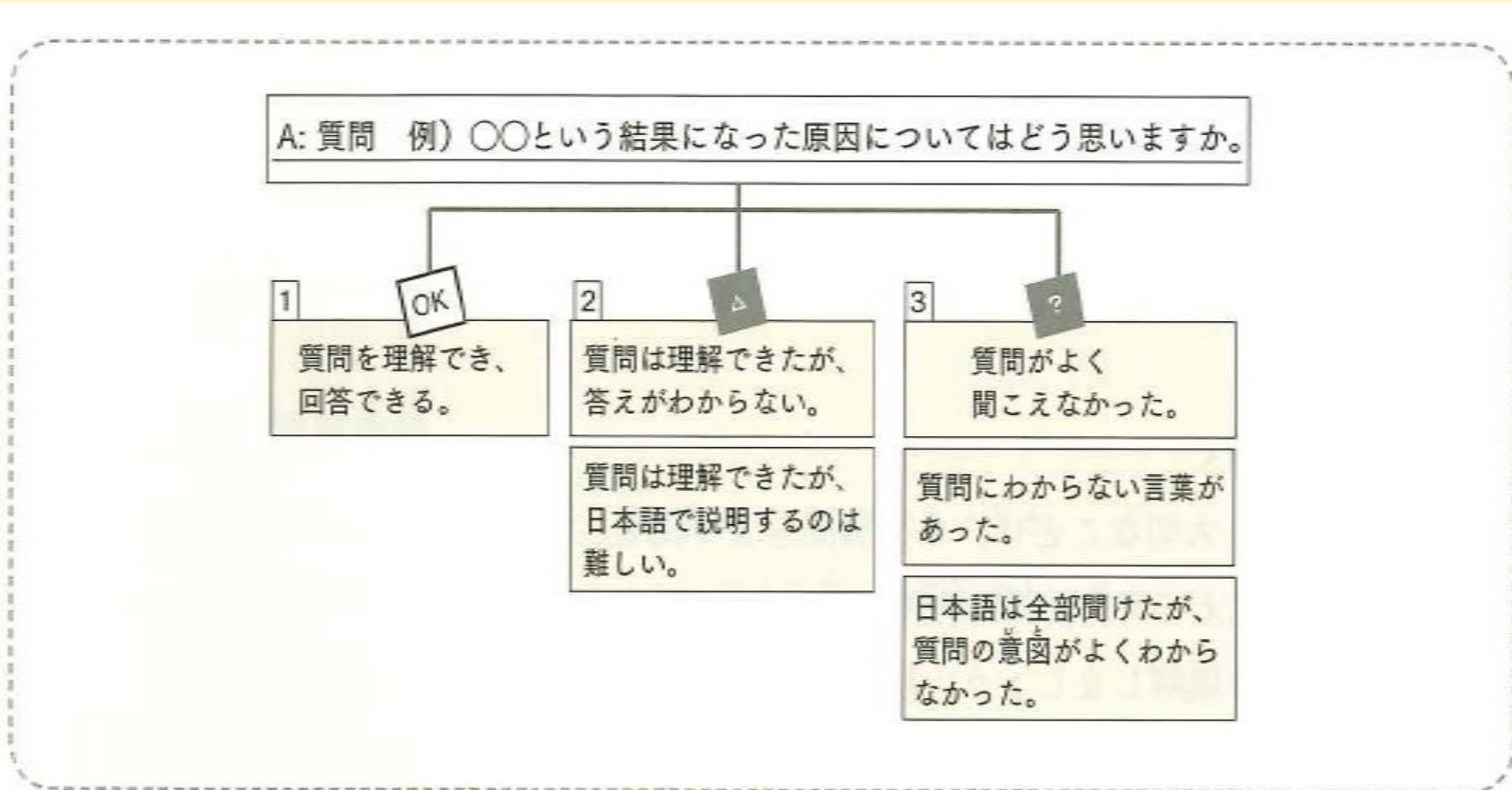


図 12-1 質問を受けた際の発表者の状況

例 1) このスライド、発表原稿のコピペ？ 文字多いね。
あなたより私のほうが速く読めるよ。

例 2) 字、小さくない？ 余白がたくさんあるよ。
なぜこの書体？ この漢字、何？日本のと違うみたい。

例 3) アニメーション楽しいね。でも、多すぎて気が散る。

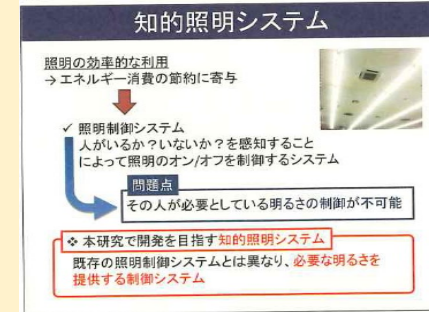
例 4) 1枚にいろいろな内容、盛りだくさんだね。
このページのテーマは何？

- ・ 実践練習
- ・ 同じ題材で作ри、比較してコメントし合う。

今日、エネルギーを節約するために、オフィスビルにおいては照明をいかに効率よく使う
かが大きな課題となっています。そのためには、誰もいない場所では照明は消し、人がいる
場所では照明を使うといった細やかな対応が求められています。最近では、人がいるかどう
かを感知するセンサを用いた照明制御システムが多く使われていますが、この場合、その人
が必要としていない場合でも決まった明るさが提供されるという欠点があります。本研究で
は、人を感知し、その人にとって必要な明るさを提供し、不必要な照明は消す、あるいは照
明を弱くするといったことができるシステムの開発を行っています。これを我々は「知的照
明システム」と呼んでいます。

参考：小野林功昇・三木光範・榊原佑樹・池上久典・間博人（2014）「人感センサを用いた照明制御システムと知的照明シ
ステムの消費電力削減効果の比較」『同志社大学理工学研究報告』Vol. 55, No.2 [https://doers.doshisha.ac.jp/duar/reposit-
ory/ir/16473/023055020013.pdf](https://doers.doshisha.ac.jp/duar/repository/ir/16473/023055020013.pdf)（2020年3月12日閲覧）

例 1



例 2



例 1) 緊張してる？大丈夫？

例 2) 何度も出てくる単語、何と言っているかわからないんだけど。

例 3) ずっと原稿を読んでいないで、こっち見て。みんな退屈そう。

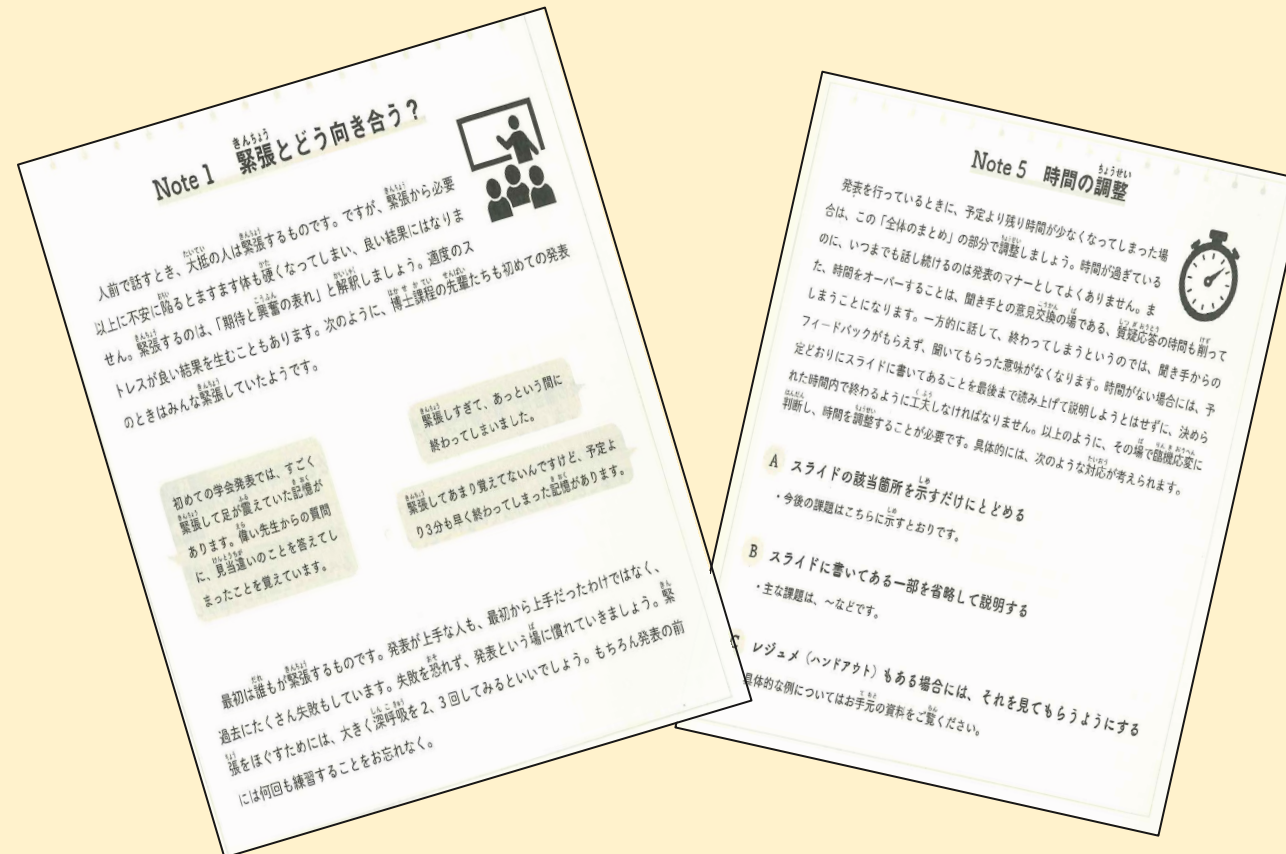
例 4) 声が小さいよ。スピード、速すぎるよ

例 5) 髪の毛、気になるの？

例 6) 今日の発表時間は10分です。10分過ぎてもそのまま続行？

留学生の問題 6 話すコミュニケーション

- ・誰もが同じ経験をしていることを知る。
「みんな緊張します」「失敗もよくあります」



評価シート

【評価シート】

①発表：話すことに限って

評価項目		良い 5・4・3・2・1	悪い	理由
言語に関わる部分	構成	構成の明確さ		
	内容	用語のわかりやすさ		
		聞き手を意識した説明の調整		
		話の流れ（論理展開）		
話し方	スピード			
	発音の正確さ			
	流暢さ			
	声の大きさ			
	ポーズ（間）			
非言語	外見	態度		
		視線		
		表情		

①発表：スライドやポスターに関して

評価項目	良い 5・4・3・2・1	悪い	理由
字や絵・写真の大きさ			
色使い・レイアウト			
スライド1枚に入れる情報量			
日本語表現			
その他（ ）			

②質疑応答：話すことに限って

評価項目		良い 5・4・3・2・1	悪い	理由
言語に関わる部分	内容	構構		
	質問に対する理解			
	適切な受け答え			
	回答に困ったときの対応			
	スピード			
話し方	発音の正確さ			
	流暢さ			
	声の大きさ			
	ポーズ（間）			
	態度			

非言語 外見

態度	視線	表情

全体的な感想：

まとめ

研究発表を行う留学生の問題点

研究内容

- ・ 研究するテーマについての理解
- ・ 「研究すること」についての理解
- ・ 思考力・考察力

パフォーマンス

(言語コミュニケーション&非言語コミュニケーション)

- ・ 発表に関するスキル（日本語で説明する・日本語で見せる）
- ・ 相手への配慮
- ・ 積極的な対話の態度

分野を問わず共通することについては、
実践を通じた練習により、
発表の基盤となる指導が可能

参考文献

1. 仁科浩美（2016）「口頭発表に関する教材分析―質疑応答の対話に目を向けた教材開発を見据えて―」専門日本語教育学会研究討論会誌、pp.36-37.
2. 仁科浩美（2017）「研究発表スライド作成における経験の 乏しい留学生の問題点―発表経験の多い博士後期課程の学生と比較して―」、アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル、（9）pp.55-63.

2. 学習者目線で実際に教材を やってみよう

第12課を使って

- ① 12課の説明
- ② ご自分で pp.97-98 (4) と (5) 5分
- ③ グループで (Zoom ブレークアウトルーム) 15分くらい
- ④ 動画 pp.98-99 Q1 & Q4

3. 質疑応答・意見交換 と まとめ